

平成19年 3月13日

- ① 将来推計人口の関連資料等
- ② 希望を反映した人口試算関連資料
- ③ その他特別部会提出資料等
- ④ 結婚・出生行動に影響を及ぼしていると  
考えられる要素の整理

# ① 将来推計人口の関連資料等

# 将来推計人口(H18.12)のモデルにおいて推定されるコーホート別の指標(女性)

## 中位推計

2006年末 時点の年齢	未婚率					平均 初婚年齢	出生児数分布 (未婚者を含む)			
	25歳	30歳	35歳	40歳	50歳		0	1	2	3以上
1955年生 (51歳)	<u>45.6%</u>	<u>13.6%</u>	<u>8.1%</u>	<u>6.5%</u>	<u>5.8%</u>	<u>24.9歳</u>	<u>13%</u>	<u>12%</u>	<u>47%</u>	<u>28%</u>
1960年生 (46歳)	<u>54.9%</u>	<u>20.3%</u>	<u>12.5%</u>	<u>10.3%</u>	9.3%	25.7歳	17%	14%	44%	25%
1965年生 (41歳)	<u>64.5%</u>	<u>26.7%</u>	<u>16.5%</u>	<u>13.3%</u>	12.0%	26.5歳	23%	17%	41%	20%
1970年生 (36歳)	<u>69.5%</u>	<u>34.1%</u>	<u>22.0%</u>	18.0%	16.2%	27.1歳	30%	19%	36%	15%
1975年生 (31歳)	<u>74.1%</u>	<u>40.2%</u>	27.1%	22.7%	20.4%	27.5歳	33%	18%	36%	14%
1980年生 (26歳)	<u>76.6%</u>	44.4%	30.2%	25.1%	22.6%	27.9歳	36%	18%	34%	12%
1985年生 (21歳)	77.9%	46.6%	31.6%	26.1%	23.5%	28.1歳	37%	18%	33%	12%
1990年生 (16歳)	78.4%	47.2%	31.9%	26.2%	23.5%	28.2歳	37%	18%	33%	11%
1995年生 (11歳)	78.7%	47.5%	32.0%	26.2%	23.6%	28.2歳	38%	18%	33%	11%
2000年生 (6歳)	78.9%	47.7%	32.0%	26.2%	23.6%	28.3歳	38%	18%	33%	11%
2005年生 (1歳)	78.9%	47.7%	32.1%	26.3%	23.6%	28.3歳	38%	18%	33%	11%

※ 下線部は人口動態統計の初婚率より算出された実績値。

## 将来推計人口(H18.12)の未婚率(女性)の見通し [概数]

### 未婚率(中位推計)

	平成17年(2005) ＜国勢調査＞	将来推計人口のモデルによる推定値 [概数]	
		平成42年(2030)	平成67年(2055)
20～24歳	89%	89% [ 0]	89% [ 0]
25～29歳	59%	63% [+ 4]	63% [+ 4]
30～34歳	32%	39% [+ 7]	39% [+ 7]
35～39歳	18%	29% [+11]	29% [+11]
40～44歳	12%	25% [+13]	25% [+13]
45～49歳	8%	23% [+15]	24% [+16]
50歳台	6%	20% [+14]	24% [+18]
60歳台	4%	13% [+ 9]	24% [+20]
70歳台	4%	6% [+ 2]	23% [+19]
80歳台	3%	5% [+ 2]	17% [+14]

注:50歳以上での婚姻を考慮していない粗い数値である。

※ [ ]内は、2005年からの変化。

将来推計人口のモデルは、人口動態統計の初婚率より算出された未婚率を基に算出している。

# 将来推計人口(H18.12)の出生児数ゼロの女性の割合の見通し [概数]

## 出生児数ゼロの女性の割合 (中位推計)

	平成17年 (2005)	将来推計人口のモデルによる推定値 [概数]	
		平成42年 (2030)	平成67年 (2055)
20～24歳	92%	93% [ 1]	93% [ 1]
25～29歳	72%	75% [+ 3]	75% [+ 3]
30～34歳	46%	54% [+ 8]	54% [+ 8]
35～39歳	30%	42% [+12]	42% [+12]
40～44歳	21%	38% [+17]	38% [+17]
45～49歳	15%	37% [+22]	37% [+22]
50歳台	10%	33% [+23]	37% [+27]
60歳台	8%	24% [+16]	37% [+29]
70歳台	8%	13% [+ 5]	36% [+28]
80歳台	8%	9% [+ 1]	30% [+22]

注: 出生児数ゼロの女性には未婚者を含む。

※ [ ]内は、2005年からの変化。

将来推計人口のモデルは、人口動態統計より算出された数値を基に算出している。

## ② 希望を反映した人口試算関連資料

# 結婚、子供数について将来人口推計の見通しと国民の希望

## 将来人口推計の見通し

<1990年生まれの女性>

○結婚経験者 76.5%  
(→生涯未婚率 23.5%)

### ○結婚経験者の子供数

無子	18.2%
1子	23.7%
2子	43.3%
3子以上	14.8%

※ 将来推計人口(平成18年12月)の中位の  
仮定

→夫婦の最終的な子供数の平均  
(夫婦完結出生児数)は1.70人

## 未婚者の希望

<2005年に18~34歳の未婚女性>

○いずれ結婚するつもり 90.0%  
(→生涯未婚率 10%未満)

(注)「一生結婚するつもりはない」は5.6%、  
「不詳」は4.3%

### ○結婚意欲のある未婚者の 希望子供数

無子	5.3%
1子	7.3%
2子	61.3%
3子以上	23.9%

(注)「いずれ結婚するつもり」と答えた未婚者の希望。  
「不詳」は2.2%

(資料) 第13回出生動向基本調査(独身者調査)

→結婚意欲のある未婚者の平均希  
望子供数は2人以上(2.10人)

## 既婚者の希望

<2005年に50歳未満の妻>

### ○現存子供数別の追加予 定子供数

(現存子供数) (追加予定子供数)

無子 [12%]	1.32人
1子 [22%]	0.64人
2子 [46%]	0.08人
3子 [18%]	0.02人
4子以上 [2%]	0.04人

※ [ ]内は構成割合である。

(資料) 第13回出生動向基本調査(夫婦  
調査)

→夫婦の予定子供数は2  
人以上(2.11人)

## 希望を反映した人口試算(H19.1)において想定される 「生涯未婚率」、「夫婦完結出生児数」について

生涯未婚率、夫婦完結出生児数の希望との乖離がそれぞれ同程度解消される場合

仮定人口試算	合計特殊出生率 (2040)	1990年生（これから出生年齢となる世代）において想定される水準	
		生涯未婚率	夫婦完結出生児数
ケースⅠ	(1.75)	10%程度	2.0 人程度
ケースⅡ	(1.6)	13%程度	1.9 人程度
ケースⅢ	(1.5)	16%程度	1.85人程度
ケースⅣ	(1.4)	20%程度	1.8 人程度
新人口推計(中位)	(1.25)	23.5%	1.70人

仮定人口試算の出生率の仮定	
ケースⅠ	2040年までに結婚、出生に関する希望が実現するケース
ケースⅡ	2040年までに結婚、出生に関する希望との乖離が3分の2程度解消するケース
ケースⅢ	2040年までに結婚、出生に関する希望との乖離が2分の1程度解消するケース
ケースⅣ	2040年までに結婚、出生に関する希望との乖離が3分の1程度解消するケース

生涯未婚率の希望との乖離のみ解消される場合

仮定人口試算	合計特殊出生率 (2040)	1990年生（これから出生年齢となる世代）において想定される水準	
		生涯未婚率	夫婦完結出生児数
ケースⅢ	(1.5)	10%程度	1.70人
ケースⅣ	(1.4)	15%程度	
新人口推計(中位)	(1.25)	23.5%	1.70人

夫婦完結出生児数の希望との乖離のみ解消される場合

仮定人口試算	合計特殊出生率 (2040)	1990年生（これから出生年齢となる世代）において想定される水準	
		生涯未婚率	夫婦完結出生児数
ケースⅢ	(1.5)	23.5%	2.0人程度
ケースⅣ	(1.4)		1.9人程度
新人口推計(中位)	(1.25)	23.5%	1.70人

※ ケースⅠ、ケースⅡについては、生涯未婚率、夫婦完結出生児数の希望との乖離を片方だけ解消したのでは達成することができない。